



# 公募研究について

原子力安全技術研究所  
業務グループ 山田 敬信



# 1. 公募の趣旨、研究領域等

## <公募の趣旨>

当社は、将来にわたり原子力発電を推進・利用するために必要性の高い将来技術・新技術の研究開発活動をより一層推進させるとともに、原子力の将来を担う人材の育成にも貢献したいと考えている。

上記を踏まえ、原子力安全技術研究所において、広く原子力安全に関する研究テーマを公募し、大学・研究機関等と連携した研究を進める。

## 募集を行う研究領域

### 領域1：将来技術に資する基礎基盤的研究

- 新型原子炉に関する技術開発
- 検知・検出に関する革新的技術開発

### 領域2：安全性向上に資する研究

- 地震・津波観測データなどを活用する研究
- 万一の事態・リスクに対応する研究

### 領域3：浜岡1,2号機の廃止措置の改善に資する研究

- 機器・設備の解体技術に関する研究
- 放射性物質の除染に関する研究

### 領域4：浜岡3,4,5号機の保守性・作業性の向上に資する研究

- 非破壊検査装置の改良
- 被ばく低減と作業効率性を両立する機材開発など

## <公募研究の募集概要>

### 1. 応募資格

全国の大学、公的研究機関に従事している研究者または静岡県内で研究が遂行可能な企業

### 2. 研究期間、費用

2年以内、1件当たり500万円/年

### 3. 選考方法

外部学識経験者による選考委員会を組織し、一次・二次選考を経て採択件名を決定

### 4. 採択件数

10件程度

## 2. 応募・採択状況、主な研究実績

### ◆応募・採択状況

第1回(2013・14年度)～第9回(2021・22年度)

応募件数(累計) 417件 / 採択件数(累計) 93件

至近の募集・採択状況

第7回(2019・2020年度) 34件の応募から10件を採択(研究終了)

第8回(2020・2021年度) 35件の応募から10件を採択(研究実施中)

第9回(2021・2022年度) 34件の応募から10件を採択(研究実施中)

### ◆主な研究実績

- ・非有害アニオンを利用したすき間腐食不活性化技術ならびにすき間内浄化技術の開発
- ・衛星測位データを利用した電離圏観測による早期津波予測の高精度化
- ・配管亀裂発見の早期化と放射性物質漏洩防止の研究(シリコンコーティング)
- ・ナノマクロHybrid多孔体による超高温体の急速冷却

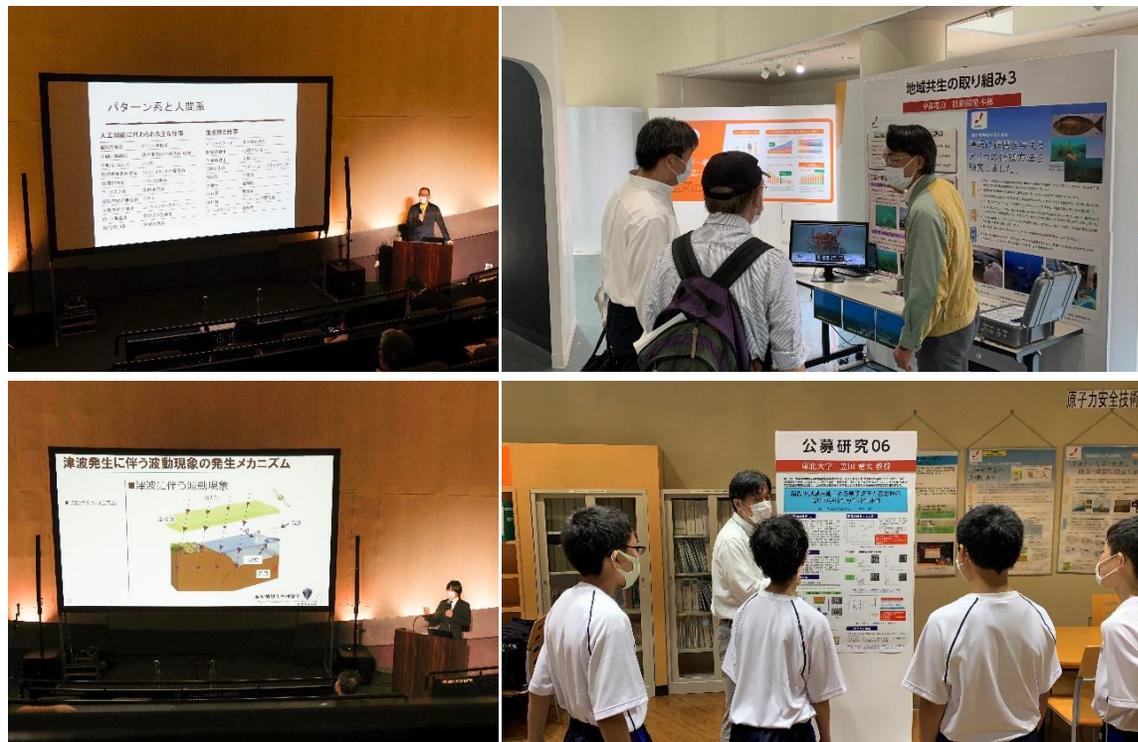
### 3. 研究成果の公開

公募研究を中心に、原子力発電の安全性を高めるさまざまな研究の内容や成果を、広く地域の皆さまにお知らせするため、サイエンス・フォーラムを開催している。

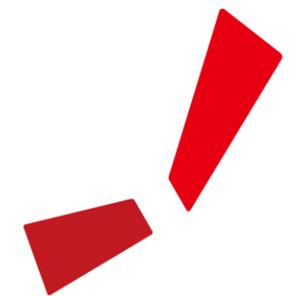
#### サイエンス・フォーラム（2021年）の様様

##### <サイエンス・フォーラム 開催実績>

- 第1回 2014年6月14日（土）於 御前崎市民会館
- 第2回 2015年6月13日（土） 同上
- 第3回 2016年6月11日（土） 同上
- 第4回 2017年7月22日（土）於 御前崎市文化会館
- 第5回 2018年7月21日（土）於 御前崎市民会館
- 第6回 2019年9月 7日（土） 同上
- 第7回 2020年7月17日（金）～10月30日（金）※  
 ※「原子力安全技術研究所 公募研究成果  
 発表2020」として当社お客さま向けHPに  
 研究成果を掲載
- 第8回 2021年7月17日（土）於 浜岡原子力館



◆一般の方々、ご来賓の方等、約120人が来場



中部電力

